



# CM大賞の町長賞は

芳賀 清 議員

## 表彰は今後考える

町長



銀座でのトップセールス

### トップセールスは

1年が経過した庄司町政町再生めざしたトップセールスの成果は、

町長 東京都内の米卸業者と大石田産米の販売促進、大田市場でスイカのPR、東京銀座の県アンテナショップで大石田産品の宣伝と店頭調査を実施。また、仙台市河原町との人的交流などを積極的に行ってきた。日常的に町特産物等のPRを行ってきたが、成果は一朝一夕とはならない。

### 公約の取組みは

産業振興や定住対策など公約への取り組みは、

町長 選挙公約の進捗よくについては、三役の報酬削減を実施し、中学3年生までの医療費無料化や福祉バスの運行、婚活事業や物産交流など一定の進捗よくをみている。定住対策としては、篤志家より駅に近い優良な土地を寄進いただいたので、若者向けの子育て住宅など、町営住宅として活用できないか検討している。また、今年度初めて行った「ペそらコンテスト」をさらに発展させて町の特産品として広くPRに努めたい。



大賞獲得で交流人口増加を期待

その他、入札制度見直し後の成果についても質問しました。

CM大賞に輝いたことで多くの誘客が見込まれ経済効果は莫大になる。頑張った職員への町長賞など表彰措置はないか。町長 CM大賞は職員の頑張りから生まれたものであり、年間毎日放送されるので交流人口拡大が期待できる。次も大賞を獲得できるよう奨励する意味でも、職員表彰は十分検討したい。



# 里山スキー場は

村形 昌一 議員

## 来年度に廃止する

教育長



冬場の家族交流に最適

### スキーの振興は

町営里山スキー場検討委員会では何を検討したのか。教育長 「スキー場運営にかかる課題」「存続に向けた意見」「廃止になった場合の意見」について検討を行った。

スキー場運営の良かった点と悪かった点は、

教育長 町民に冬場の体づくりとレクリエーションの場として一定の効果を上げる事が出来た。しかしながら設立当初よ

りある程度の経営赤字を覚悟して運営を行ってきたが、単年度約1千万円の赤字に施設の老朽化対策や圧雪車更新などの新たな財政負担を強いる状況が生じてきた。このようことから、来年度より廃止せざるを得ないと結論に至った。

### 今季の運営はどうする。

教育長 これまでの感謝の意味を込め無料とする。

スキー教育をどうするか。教育長 従来通りクロカ

ン・アルペン共にスキーの振興は図っていく。旧大石田高校グラウンドと中学校多目的グラウンドを一体整備しクロカンの練習施設に出来ないか考えている。

スキー大会はどうする。教育長 クロカンは他の場所でも実施できるが、アルペンについては大会運営者やスキー連盟と相談していきたい。

里山は国道や駅等アクセス面で秀でたスキー場であった。つまりランドと連携しインターネットの旅行サイトで初心者向けスキー宿泊プランを企画し全国から誘客できないか。副町長 検討の余地はあるが難しいと思う。

スキー場の赤字体質は一つの課題にだけ任せた結果だ。他の事にも当てるべきだ。他の事に各課横断的に交流人口の拡大を図るべきだ。民間も交えるのもつと良くなるのではないか。



クロカンでがんばる大石田っ子

町長 今後、そのような考えのもとにやっていく。シーズン中か来季に改めて廃止後の里山をどうするかを検討委員会を開いてほしい。教育長 今回の開催する予定はないが、状況を見ながら違った形で意見を聞きたい。町長 これから検討する。町長 存続を求める声もある中、丁寧な意見集約が必要だ。町民みんなが合意できる落としどころを探れ。町長